**6項関係消防訓練「自主」チェックシート**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **対象物名** | **担当者** | **電話番号** |

★訓練を実施する前に、管轄消防署までご連絡ください。

訓練を実施した後に、この自主チェックシートを管轄消防署まで提出してください（ファックス可）

・中消防署　TEL0576-25-4888　 FAX0576-25-6135・北消防署　TEL0576-52-3519　 FAX0576-53-1036

・小坂分署　TEL0576-62-3536　 FAX0576-62-2467・南消防署　TEL0576-34-0119　 FAX0576-32-2137

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 火　　点 |  | 実施者 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 想定時間 | [ ] 　昼　間　　　[ ] 　夜　間 | 実施年月日 | 　　　年　　　月　　　日 |
| 火点構造 | [ ] 　耐火・準耐火造（竪穴区画　[x] 有　[ ] 無）　　　[ ] 　木造　　　　　[ ] 　地階（[ ] 避難階） |

※非該当項目には　□　を記入

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | **チェック項目** | **判　定** | **不適理由** |
| 1 | 自火報受信機の確認要領（受信機有りの場合）　※3 | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 表示された箇所の呼称無し[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 2 | 現場確認要領 | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] マスターキー等を忘れる[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 3 | 火災室の確認要領 | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 火点の確認なし[ ] 低い姿勢で確認[ ] 開けた扉の閉め忘れ[ ] 火災確認後「火事だ～」の声掛け無し（2回以上）[ ] 通報者へ現場状況の連絡なし[ ] 自火報電話による連絡後、ジャックを抜き忘れる[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 4 | 非常放送設備要領（非常放送有りの場合） | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 確認放送をしない[ ] 火災放送をしない[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 5 | 初期消火要領（消火器15秒、屋内消火栓30秒で模擬放射。初期消火失敗を想定） | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 初期消火なし[ ] 操作要領不適（[ ] 消火器　[ ] 屋内消火栓）[ ] 開けた扉の閉め忘れ[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 6 | 119通報要領 | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 通報なし[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 7 | 避難誘導要領　※木造は全階、耐火・準耐火造は火災階及び直上階（竪穴区画無は火災階以上）の入居者を誘導　**※1** | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 一時避難場所等までの搬送なし　**※2**[ ] 未搬送の入居者有り[ ] 出火箇所に応じた避難口の施錠を解錠しない[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 8 | 迅速な行動（火点確認～避難誘導完了まで） | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 7分以上かかる　※屋内消火栓使用の際は、＋1分[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 9 | 各消防用設備の復旧要領 | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 自火報　[ ] 非常放送　[ ] 火通　[ ] その他（　　　　　） |
| 10 | 現場確認時、消火器等の携行 | [ ] 適 | [ ] 不適 | [ ] 消火器の不携行　[ ] 懐中電灯の不携行 |
| 11 | 誘導した部屋の共有 | [ ] 適 | [ ] 不適 | マグネット等で掲示し皆に共有。1人で誘導する場合は必要なし |
| 12 | 一時避難場所の周知 | [ ] 適 | [ ] 不適 | 入居者へ一時避難場所を連絡しない |
| 13 | 消防隊への報告  | [ ] 適 | [ ] 不適 | 出火場所・逃げ遅れ・誘導完了範囲　※マスターキーがあれば提出 |
| 【備考】 |

**※1**地下で火災の場合は、地階全て及び地上１階を誘導（ただし、火点が避難階である場合は地上扱いとし誘導）

**※2**入居者は原則一時避難場所まで搬送する。一時避難場所とは、最終避難場所ではなく、消防隊到着までに

とりあえず安全であると思われる場所の事であり、次に例示する。

例）【耐火・準耐火→直下階（防火区画がある場合は防火区画外）】　【木造→屋外】　等

**※3**非常ベルを鳴らさなくても構いませんが、その場合は鳴っているものとして行動してください。